

丹波市過疎地域持続的発展計画（案）に対するパブリックコメントの結果について

パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間

令和3年8月6日（金）～令和3年8月19日（木）

(2) 意見の応募者数及び件数

応募者 16 名、件数 47 件（うち、4 名、11 件の公表なし。）

No.	該当項目 頁	意見・提案の概要	市の考え方
1	-	<p>青垣町は、日本の故郷の原風景を描こうと思ったときに、兵庫県内で最も映画撮影に適した場所だと断言できます。</p> <p>廃校も廃屋も全て撮影する側から見れば宝の山です。マイナス材料と思われていることがプラス材料にしかありません。</p> <p>都市部に行かなくとも、青垣で世界に通じる魅力的なメディアの仕事ができるとすれば、若者たちの仕事の選択肢も変わってくるでしょう。同時に都市部からの現役編集作業の人々も「家賃経費削減」と「静かな場所でじっくり仕事ができる」という2つのメリットは、移住への大きな魅力となるはずです。</p> <p>国内外から随時ロケ隊を迎え入れられるよう、既存撮影スタジオの管理補修と、空き家活用による別タイプ撮影スタジオの増設。同じく空き家を活用した宿泊対応ネットワーク。ロケ支援と青少年や高齢者への映画参加支援のためのNGO（丹波フィルムコミッション）の設立、映画製作のカルチャースクールの開催など、総合的かつ継続的な支援策をご提案します。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>移住に向けたメリット、魅力としてご提案いただいておりますとおり、都市部にいなくても必要な仕事ができる「自由な働き方」の受け皿となる地域に向けて取組を進めます。</p> <p>なお、24頁で、空き家や廃校等を活用した多様な働き方の普及について記載しています。</p>

No.	該当項目 頁	意見・提案の概要	市の考え方
2	第1章 基本的な事項 5頁	<p>コワーキングスペースについて説明書きがあれば理解しやすい。</p> <p>例) 12頁等にはSDGs（持続可能な発展目標）と説明書きがあります。</p>	<p>ご意見を踏まえ、コワーキングスペースの説明を追記します。</p> <p><u>※コワーキングスペース</u> <u>不特定多数の者がテレワークにより働くことができるオープンなスペース。</u></p>
3	第1章 基本的な事項 9頁	<p>表1-2(1)市町村財政の状況《丹波市》は、表1-2(1)市財政の状況《丹波市》ではないでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり改めます。</p> <p>表1-2(1)市町村財政の状況《丹波市》→表1-2(1)<u>市財政</u>の状況《丹波市》</p>
4	第1章 基本的な事項 12頁	<p>(1)地域の課題 7行目の「・・・自治会の存続の危機、自治会が持つ公益的な機能の低下など、・・・」は、「・・・自治会の存続の危機、<u>自治会等</u>が持つ公益的な機能の低下など、・・・」ではないでしょうか。</p> <p>自治会だけが公益的な機能を持っているわけではありません。公益的な機能を持っている団体の例として、農会、水利組合、土地改良、旧農地水の事業団体などがあります。</p>	<p>ご指摘のとおり、農会等の団体についても自治会同様に、公益的な機能を有していることから、「<u>自治会等</u>が持つ公益的な機能」に改めます。</p> <p>「自治会が持つ公益的な機能」→「<u>自治会等</u>が持つ公益的な機能」</p>

No.	該当項目 頁	意見・提案の概要	市の考え方
5	第1章 基本的な事項 5頁	ICTの説明書きがあれば理解しやすい。	ご意見を踏まえ、ICTの説明を追記します。 <u>※ICT</u> <u>Information & Communications Technologyの略。情報通信技術。</u>
6	第6章 生活環境の整備 36頁、37頁	<p>「合併処理浄化槽」の表記は「浄化槽」にする方が良いのではないのでしょうか。</p> <p>「青垣地域は、地形の特性を考慮し・・・」は、「青垣地域は、地形の特性や財政上の問題等を考慮し・・・」の方が良いと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>「公共下水道に代わる処理施設」は、「公共下水道に代わる生活排水処理施設」ではないのでしょうか。</p> <p>「老朽化による修繕や埋め替え対策が必要・・・」は、「老朽化による修繕や更新が必要・・・」ではないのでしょうか。</p> <p>「浄化槽の埋め替えに対する補助」は、「浄化槽の更新に対する補助」ではないのでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり改めます。</p> <p>「合併処理浄化槽」→「<u>浄化槽</u>」</p> <p><u>※以降は「合併処理浄化槽」の表記を「浄化槽」に改めます。</u></p> <p>「青垣地域は、地形の特性を考慮し、公共下水道に代わる処理施設として、合併処理浄化槽推進区域となっている。」→「青垣地域は、地形の特性や財政上の問題等を考慮し、公共下水道に代わる<u>生活排水処理施設</u>として、<u>浄化槽</u>推進区域となっている。」</p> <p>「老朽化による修繕や埋め替え対策が必要・・・」→「老朽化による修繕や<u>更新</u>が必要・・・」</p> <p>「浄化槽の埋め替えに対する補助」→「浄化槽の<u>更新</u>に対する補助」</p>

No.	該当項目 頁	意見・提案の概要	市の考え方
7	第6章 生活 環境の整備 37頁	<p>「浄化槽管理組合の活動に対する補助」は、「(一社)丹波市浄化槽管理組合に対する公的支援」ではないでしょうか。</p> <p>「活動に対する補助」は同組合が正常に機能し活動できていることが前提の「補助」ですが、現在の組合の状況は、浄化槽管理士が高齢になり退職の時期を迎えています。しかし、組合が職員の募集をしても応募される方がないのが現実です。</p> <p>このままの状態が続くと、あと数年で組合は浄化槽の保守点検が継続できなくなり、組合活動が停滞することが予測されます。そのようにならないようにするためには、丹波市が組合に補助金だけを交付するのではなく、組合の事業が継続できるような支援を継続することが重要になっていると思います。</p> <p>現在の(一社)丹波市浄化槽管理組合、前身の丹波市浄化槽管理組合が発足したのは公共用水域の水質保全を担う行政がイニシアティブをとり発足したものです。</p> <p>そのため、「公的支援」というかたちで組合が今後も存続できるように丹波市が全面的に支援することが求められています。</p> <p>過疎地域の課題解決のため行政主導で発足した組合を今後も行政は支援を続け持続、発展させなければならない重要な課題だと思えます。そのことが「過疎地域の持続的発展」につながると思えます。</p> <p>「事業効果は将来持続的に及ぶものである。」と計画に明確に記載されているとおりで。</p>	<p>「補助」も「公的支援」のひとつと考えています。「第2次丹波市総合計画後期基本計画」において、(一社)丹波市浄化槽管理組合の活動支援として、「浄化槽の適正な維持管理を促進するため、浄化槽の設置者で組織する丹波市浄化槽管理組合に補助を行う・・・」と記載しておりますとおり、(一社)丹波市浄化槽管理組合の活動支援については、「浄化槽管理組合の活動に対する補助」とします。</p> <p>なお、名称については、ご指摘のとおり改めます。</p> <p>「浄化槽管理組合」→「(一社)丹波市浄化槽管理組合」</p> <p>※55頁以降の過疎地域持続的発展特別事業一覧においても、同様に改めます。</p>

No.	該当項目 頁	意見・提案の概要	市の考え方
8	第6章 生活 環境の整備 39頁	浄化槽は、下水道処理施設ではないので、表中の「下水道処理施設」は、「生活排水処理施設」が妥当だと思いますがどうでしょうか。	ご意見を踏まえて、「廃棄物処理施設」に改めます。 表中の事業名（施設名）は、過疎地域持続的発展計画の作成において、国より示された区分名に基づく事業名です。「生活排水処理施設」の区分はありませんが、「廃棄物処理施設」に包含されています。 「下水道処理施設」→「 <u>廃棄物処理施設</u> 」
9	第9章 教育 の振興 46頁	「青垣住民センター」と「住民センター」の2通りの表記があります。どちらかに統一する方が良いのではないのでしょうか	ご指摘のとおり「青垣住民センター」に統一します。 「活動の拠点となる住民センターや」→「活動の拠点となる <u>青垣</u> 住民センターや」
10	第10章 集 落の整備 49頁	「また、青垣地域では平成29年4月の小学校統合により3つの小学校が閉校となった。」とありますが、4つの小学校が閉校になって統合され、新しく「青垣小学校」になったと思います。	ご指摘のとおり改めます。 「3つの小学校が閉校となった。」→「 <u>4</u> つの小学校が閉校となった。」
11	第1章 基本 的な事項 7頁 12頁	青垣町が対象であるから、人口推計等は青垣町域で表示する必要があるのではないかと。 青垣は4地域に特色があり課題も濃淡がある。4つの地域ごとに現況や課題を描く必要があるのではないかと。	人口推計の方法は複数ありますが、市の人口推計の方法として、「第2期丹波市人口ビジョン」のとおり、内閣府の提供データを用いて算出しています。市の人口推計において、地域ごとの内訳がないことから、市全体のグラフとしています。 過疎地域の現況や課題については、ワークショップなどでいただいた地域住民の多様な意見を踏まえ、計画に記載しています。4地区それぞれの現況や課題を包括した青垣地域の課題等を踏まえ、そ

No.	該当項目 頁	意見・提案の概要	市の考え方
			それぞれの資源や人材力を掛け合わせることで、持続的可能な地域社会の形成に向けて施策を推進します。
12	第5章 交通 施設の整備、 交通手段の確保 32頁	今後、移動については自宅から出ることが困難な高齢者や地域の方が急増することが想定される。現在の施策ではオンデマンド頼みだが、シェアリングや自動運転、オンデマンドと直通のバスの組み合わせなど、抜本的な仕組みを今から検討するべきではないか。	市では、路線バス事業者の協力のもと、増便や路線の延伸等、路線バスの更なる充実に向けて取り組んでいるところです。今後も公共交通全体のバランスを保ちながら、他の交通機関との乗継の利便性を改善しつつ、持続可能な公共交通サービスの提供に努めます。
13	-	<p>記載事業の範囲について、網羅的に記載することは仕方ありませんが、青垣で特に重点的に行う取組や全市的に行う事業でも青垣で具体的に重点的に取り組む事業を分けるないし、棲み分けして記載する必要があると思います。</p> <p>例えば市民プラザの大交流会が特出しされていることなど、全市で行う事業で青垣との関連性が明確に説明できないものも多く含まれていると思います。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>青垣地域における持続可能な地域社会の形成及び地域資源等を活用した地域活力の更なる向上に向けて、地域の意見を踏まえながら、新たな取組について引き続き庁内で検討を進めます。</p> <p>なお、重点的に取り組む施策の方針として、14頁、15頁に記載しています。</p>
14	第2章 移 住・定住・地 域間交流の促 進、人材の育 成 18頁～21頁	<p>「移住・定住・地域間交流の促進、人材の育成」の促進は、本過疎対策の重点方針であり、この取組だけでなく、限界集落間近のコミュニティ対策など過疎地域の持っている様々な課題も取り入れた、活動の充実とその拠点が必要と考えます。</p> <p>そのため、廃止が予定されている丹波市観光協会あおがき案内所（丹波市観光協会所有）を借用し、活動拠点として複数の定住支援員を常駐させ課題に取り組んではどうかと考えます。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>なお、定住支援員設置の支援事業について、21頁に記載しています。</p>

No.	該当項目 頁	意見・提案の概要	市の考え方
		この案内所は道の駅あおがき内にあり、青垣町内はもとより外部の人たちにも訪れやすい場所となっています。	
15	第5章 交通 施設の整備、 交通手段の確保 32頁	道の駅あおがき内に高速バス停を設けていただきたい。 近い将来国道429号榎トンネルが開通した暁には、福知山市西部の住民の利用も考えられ、利用が増加するものと予想します。 現バス停を移動するのではなく、道の駅あおがきでも乗下車可能となるよう、整備をお願いするものです。 現状の狭いパーキング内でのバス停でなく、混雑に関係なく乗り降りが可能な、例えば道の駅南側の緑地帯や隣接する農地（農振外）を利用してはどうかと考えます。	ご意見として承ります。 今後、更なる利便性の向上に向け、関係機関との協議を行います。 なお、青垣IC高速バス停の利便性向上について、33頁に記載しています。
16	第6章 生活 環境の整備 36頁～39頁	青垣特有の問題として、合併処理浄化槽があるが、私は青垣には最適の選択であったと考えます。戸数や人口が減っていく将来、広域処理は経費が増加することは確実です。都市部でも浄化槽処理が見直されている現在、丹波市においても将来を見越した判断や位置づけ、計画が必要であると考えます。	ご意見として承ります。 なお、浄化槽においては、保守点検、清掃、法定検査の徹底による適切な維持管理を図ることを36頁に記載しています。
17	-	過疎地域持続的発展計画の具体的な事業計画は、全ての面で将来の丹波にとってモデルになるような取組をお願いしたい。市の周辺部に元気があれば、中心部の地域は活力の維持発展が確保できると考えます。	ご意見として承ります。 なお、地域の情報化において、「青垣地域において、ICTの社会実装に向けたこれらの取組を先進的に展開していくことで、本市における持続可能な社会形成のモデル地域となることを目指す。」と30頁に記載しています。

No.	該当項目 頁	意見・提案の概要	市の考え方
18	第5章 交通 施設の整備、 交通手段の確 保 32頁	公共交通において、路線バスの運行経路を幹線道路真っ直ぐにし、停留所はデマンド（予約）型乗合タクシーを利用することについて社会実験をしてはどうか。	ご意見として承ります。 路線バス事業者の協力のもと、路線バスの充実に向けて取り組むとともに、今後も、公共交通の乗継の利便性の向上に努めます。
19	-	地域の草刈り作業等が高齢化に伴い負担となっている。若い人にはその分、精神的負担もあり田舎の暮らしの定着が難しいのでは？自治会にリモコン草刈り機購入への助成金を出してほしい。	ご意見として承ります。 農作物の振興に向けた支援について、リモコン草刈機など ICT の活用を 24 頁に記載しています。また、ICT の社会実装に向けて取り組むことについて 30 頁に記載しています。
20	第5章 交通 施設の整備、 交通手段の確 保 32頁	高齢者や免許返納者が交通手段としているデマンドの活用が充分でない。神姫バスとデマンドの活用方法を検討してはどうか。	ご意見として承ります。 公共交通の全体のバランスを保ちながら、他の交通機関との乗継の向上に努めます。
21	-	阪神間から短期間の仕事を（出張等）される方のために安価で宿泊できる施設を公共で作ってほしい。食事はなくても入浴できればよい。	ご意見として承ります。 古民家の活用や既存のアウトドア施設など、体験型観光を通じて利用促進を図ります。
22	第3章 産業 の振興 24頁	ICT 機能が十分活かせる環境を作り大手企業を誘致し、テレワークで仕事ができるよう働きかけてはかがか（＝地域居住）。	ご意見として承ります。 なお、「空き家や廃校等を活用したコワーキングスペースの提供、サテライトオフィスの誘致など、時代に応じた自由な働き方の受け皿となる地域を目指す。」と 24 頁に記載しています。

No.	該当項目 頁	意見・提案の概要	市の考え方
23	第 2 章 移 住・定住・地 域間交流の促 進、人材の育 成 18 頁	自然豊かな環境と共に移住を考えている方達には災害が少ない地 域であることもアピールしてはいかが。	ご意見として承ります。 移住・定住促進にあたり、市外の人に知ってもらい、興味を持っ てもらうことが重要であり、あらゆる機会を通じて市外に PR してい きます。また、移住者が抱える懸念を解きほぐすため、移住後の生 活不安に寄り添う細やかな相談に対応します。
24	第 2 章 移 住・定住・地 域間交流の促 進、人材の育 成 20 頁	市有施設（旧医師住宅）の活用を早期に始めて欲しい。このまま 置いていても管理費にお金が掛かるのでは。	ご意見として承ります。 市有施設（旧医師住宅）の維持管理経費の軽減も考慮しながら、 具体的な活用方法の検討を進めます。
25	-	パブコメ募集の告知が広く住人に行き渡っていないように感しま す。日常的にパソコンやスマホを使い慣れていない人には伝わって いないのではないのでしょうか。	パブリックコメントの実施について、次のとおり周知しています。 ・市防災行政無線で放送 ・記者への資料提供 ・市 HP 掲載 ・市役所、各支所、各住民センター、ライフピアいちじま窓口にて 意見箱等を設置

No.	該当項目 頁	意見・提案の概要	市の考え方
26	第4章 地域 における情報 化 30頁	地域の情報化で、青垣地域は基本的なインフラとして光ファイバー網が既に100%整備されているということや、通信の新技术実用化は常に民間業者が先導して勝手に進む分野であるということなどを鑑みると、公金をたくさん使って行政側からの積極的な事業推進は優先順位が低いと思います。	ご意見として承ります。 市内の他地域と比べて高齢化が進む青垣地域において、ICTの社会実装に向けた取組を先進的に展開し、市のモデル地域として情報化を推進することで、持続可能な社会形成に寄与するものと考えます。
27	第5章 交通 施設の整備、 交通手段の確 保 32頁	交通手段の整備について、榎峠トンネル開通による影響は青垣地域へのメリットだけでなくデメリットの面も想定した事業計画になっているのか懸念があります。 青垣地域住民の行動として想像できるのは、町内の商店だけでなく、氷上や柏原の商業施設の利用も福知山市街にとってかわられて、地域内の経済振興と逆の効果も考えられないでしょうか。	ご意見として承ります。 日常生活圏の拡大や近隣市町との交流の促進、移住・定住者の増加が期待される一方で、ご指摘の懸念も踏まえ、地域の活性化に取り組みます。
28	第5章 交通 施設の整備、 交通手段の確 保 32頁	公共交通機関について、現状のバス利用の待ち時間や移動時間の不満があることを耳にしました。そこで、バス路線の経路を根本的に見直してはいかがでしょうか。市内要所を絞り込んだ経路で少ない停車駅とし、各停車駅では各地域を網羅するデマンドタクシーなどと連携したハブ機能を持たせて車両の運行やそれに乗り込む利用客の移動の効率をさらに良くする工夫はできそうな気がします。	ご意見として承ります。 なお、市では、路線バス事業者の協力のもと、増便や路線の延伸等、更なる充実に向けて取り組んでいるところですが、今後も他の交通機関との乗継の利便性改善に努めます。

No.	該当項目 頁	意見・提案の概要	市の考え方
29	第3章 産業 の振興、第10 章 集落の整 備	産業振興と集落の整備に関して、耕作地や山林の管理放棄、用途をリニューアルしなければならない建物施設などが増えています。これらが営利の民間業者に引き継がれて、景観や周りの住環境を考慮しない開発が進んでしまうことを懸念しています。ソーラーパネル施設でこういう問題の実例も身近にありますので、産業振興としての補助事業は審査基準もよく練り上げて、事業内容についても何らかの行政からの規制の設定も検討したほうがよいかもしれません。	ご意見として承ります。 本計画の策定を定めた法律（過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法）の目的に、美しく風格ある国土の形成に寄与することが明記されており、その実現に向けた取組に努めます。
30	第11章 地 域文化の振興 等 51頁	丹波布技術保存会の会員は、それぞれの工房を立ち上げて活動しております。個人では頑張っておりますが、販売にも苦心しておる会員ばかりです。今後も保存会とともに青垣の工房へのアピール支援を行政にもお願いします。	ご意見として承ります。 販売促進には丹波布のブランド価値を高めることが必要ですが、その取組を市だけで行うことは難しいと考えます。今後も丹波布伝承館を拠点として、丹波布技術保存会とともに、市の内外へPR事業を推進していきます。

No.	該当項目 頁	意見・提案の概要	市の考え方
31	第 11 章 地域文化の振興等 51 頁	<p>旧朝倉家住宅の利活用と隣接する青垣歴史民俗資料館との存続と連携について提案させていただきます。</p> <p>主旨としましては、旧朝倉家住宅と隣接する青垣歴史民俗資料館の整備と展示の充実、実演体験利用です。</p> <p>《理由、詳細説明》</p> <p>①これらの施設は、郷土愛を育む文化施設であること。展示するだけでは当時の生活様式文化財の命は伝わらない。②スタンプラリー（町内文化財や観光地巡り）を計画する。③施設入口の段差をなくすなど。④個人や団体に施設を委託する。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>青垣歴史民俗資料館の展示館については、建物の老朽化が著しいことから、丹波市公共施設再配置基本方針等に基づき、歴史民俗資料館としての機能を廃止し、解体しますが、県指定の旧朝倉家住宅は、公開をはじめとする文化財の活用に資する活動を充実させます。</p> <p>なお、展示館内の民具等については、他施設での利活用なども含め、民具等を活用した取組を実践されている方々とも連携を図りながら、実演・体験など、活用に向けて検討を進めます。</p>
32	-	<p>計画（案）を見て、幅広く網羅されているが、丹波市のどの地域でも通用する内容で“青垣”としての特色がなく残念です。</p> <p>青垣にはいくつかの「宝」がある。その宝にみがきをかけること（その宝を重点的に取り組むこと）が、過疎化した青垣を持続的に維持し発展させると考える。</p> <p>「宝」とは、①山の木（間伐材をチップやペレットにして薪ストーブ・ボイラにーに使うなど）、②歴史・文化（細見綾子邸に学芸員・案内員を配置するなど）、③国指定無形文化財「丹波布」、丹波布伝承館の運営、④自然（いきものふれあいの里を軸に、里山と自然・人の関わりを伝えるなど）、⑤米・黒豆・あずき・あまごの6次産業化、⑥高源寺、熊野神社など</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>青垣地域の特色（資源や人材、歴史、文化など）を活かした取組を推進していくことが必要であると考えます。</p> <p>なお、青垣地域の持続的発展の基本方針及び重点施策の方針については、14 頁、15 頁で記載しています。</p> <p>また、移住施策としてご提案いただきました「子育て支援」や「高齢者等の保健及び福祉」、「医療の確保」については、地域の持続的発展を図るうえで、いずれも重要な施策であると考えます。</p> <p>なお、計画では、それぞれの分野を章ごとに記載しています。</p>

No.	該当項目 頁	意見・提案の概要	市の考え方
		<p>(つづき)</p> <p>美しい奥丹波のかくれた文化をクローズアップし、新しい企業や新しい建物などを入れることは必要ないとする。</p> <p>また、住民を増やす(移住者に来てもらう)ための取組施策としては、A 子育て支援(保育料の補助など)、B 医療・高齢者福祉(他地域との違いをPR)の2点。</p> <p>青垣の景観を変えることなく、青垣らしい、青垣のための住民が活力ある魅力ある取組を企画していただきたい。</p>	
33	-	<p>子どもたちに「ふるさと」の美しさを記憶の中に残してあげたいと考えます。多くのことを年寄りから子供へ継承する場があれば、やさしい「ふるさと」を感じてもらえると思います。</p> <p>1点目に、構想として「子どもと年寄りの学びの里」として施設を整備し、施設で学習し、「子供食堂」もある。食育と福祉の一体教育が「ふるさと再建設」の一助になればと思います。</p> <p>2点目に、雇用の問題対策があり、世界的大企業の工場誘致を進めます。</p> <p>3点目に、交通アクセス等の問題対策として、北近畿豊岡道「遠阪トンネル」の無料化。</p> <p>4点目に、最終目標として、大丹波・大但馬を第2首都にする。地方の新しい形の首都を目指す。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>「第2次丹波市総合計画」では、ふるさとに誇りと愛着を持つ人材を育み、丹波市らしさを創造することを目的に将来像を掲げています。丹波市過疎地域持続的発展計画に基づき、地域資源を活用して地域活力の更なる向上が実現するよう取組を進めていきます。</p>

No.	該当項目 頁	意見・提案の概要	市の考え方
34	第 11 章 地域文化の振興等 51 頁、52	現在散在している青垣地域の有形無形の文化財の調査・研究、展示、体験の場等をまとめたような場所づくりの整備は不可能でしょうか。歴史を伝えてくれる語り部、旧朝倉家住宅の貴重さ、青垣歴史民俗資料館内の民具の重要性、聞き取り調査等、デジタルデータにまとめる前の生の資料自体が持つ価値を調査・研究し、様々な青垣町の有形無形文化財をまとめて扱う。生の資料を残していく場作り。利活用するための土台となる文化財それぞれが持つ価値への入り口。	ご意見として承ります。 青垣地域に限らず、過疎化・少子高齢化の進行により、文化財の滅失や散逸等の防止、保存継承等が課題となっています。 このことから、指定・未指定を問わず、市内の文化財の保存と活用を目的とする基本的な方針等を今後において整理していきたいと考えています。
35	-	包括連携協定大学のひとつ、武庫川女子大学との連携の具体的な記載がありません。現在までの連携、今後の連携の可能性等、この度の計画に具体的に取り入れられないものなのでしょうか。	ご意見として承ります。 包括連携協定に基づき、武庫川女子大学など、連携協定大学との連携を引き続き行います。 このことについては、「丹波市包括連携協定大学活動支援補助金を活用した地域・大学連携事業の推進」と 20 頁で記載しています。
36	過疎地域持続的発展特別事業一覧 55 頁～71 頁	末尾の「過疎地域持続的発展特別事業一覧」には、「第 11 章 地域文化の振興等」にて触れられていた事業が見当たらないように感じました。 特に、文化財の保全に向けた活動支援は、具体的にはどのように進められるのでしょうか。 また、国の無形文化財に選択されている丹波布の「後継者の育成」については、現在どのように市が思われているかお考えをお聞きし	55 頁以降の「過疎地域持続的発展特別事業一覧」は、具体的なソフト事業の一覧を記載しています。 文化財の保全に向けた具体的な活動支援の進め方は、今後検討していきます。 丹波布の「後継者の育成」については、丹波布伝承館で開催しています「長期伝承教室」のあり方など技術保存会等の関係者の意見

No.	該当項目 頁	意見・提案の概要	市の考え方
		たいと思っております。	を聞きながら継続できることを前提に、技術者のレベルを高める取組や技術者の認定基準等を定めることも必要かと考えます。